

副本

令和4年(ワ)第2989号 横田基地飛行差止等請求事件

原告 青山秀雄 外281名

被告 国

事務連絡

令和6年8月26日

東京地方裁判所立川支部民事第2部合議B係 御中

原告ら代理人弁護士 佐竹俊之 様

被告指定代理人

川 勝 庸



昆 雄



加藤 憲田郎



頭書の事件について、被告は、原告らの居住実態の確認に関し、原告らによる立証を要するものと考えており、つきましては、下記のとおり、進行について申入れをしたく御連絡いたします。

記

1 申入れの内容

原告ら代理人におかれましては、各原告の個別損害について、陳述書の準備等を進められているものと思っておりますが、これと並行して、アンケート調査ないし聞き取り調査等の方法によって、住民票上の居住歴と実際の居住地が合致しているか、合致していない場合にはその期間等について、各原告の居住実態の御確認を

行っていただきたく、申し入れます。申入れの経緯・理由については、以下の2に記載のとおりです。

なお、参考として、以下2に記載の小松基地訴訟において実施されたアンケート調査で用いられた回答書を分かりやすさの観点から一部改めた回答書を添付いたします。

2 申入れの経緯・理由

昨今の多様な生活・就労様式を考慮すると、就学・就職・転勤などを機に家族と離れて暮らすことになるなど、住民票上の住所と実際の居所が一致しない事例は珍しくありません。

実際に、小松基地訴訟では、一審原告らの居住実態を確認するアンケート調査が原告ら代理人によって実施され、一審原告2121名のうち、住民票の記載内容と異なる居住実態を回答した方が57名おり、そのうち請求期間の一部につき指定区域外に居住していたと回答した方が37名もいたことが判明しました。

また、その他の本件と同種の基地騒音訴訟におきましても、原告の住民票上の住所と実際の居所が一致しない事例につき、住民票に加えて陳述書などで実際の居所の立証が試みられることがあり、実際の居所が居住場所として認定されることもあります（東京高裁平成27年7月30日判決・判例時報2277号102及び103ページ、那覇地裁沖縄支部平成28年11月17日判決・判例時報2341号17ページ（乙104）、宮崎地裁令和3年6月28日判決・判例秘書登載）。

このように、住民票上の住所と実際の居所が一致しない実例が複数存在する以上、被告としては、住民票のみでは、原告らの居住実態を正確に確認できず、原告らが実際に住民票上の住所に居住しているか、必ずしも明らかではないと言わざるを得ません。

そして、上記小松基地訴訟に係る名古屋高等裁判所金沢支部令和4年3月16

日判決（判例秘書登載）では、請求期間の一部につき指定区域外に居住していたと回答した原告らについて、個々の事情を検討した上で実際の居所が居住場所であると認定するとともに、アンケート調査に回答しなかった原告らについて、「住民票に記載の住所地と異なる場所に居住していた事実がなければ、単に異なる旨を回答すれば足りるもので容易に回答可能であることからすると、このような調査に回答しない以上、居住事実についての立証が尽くされていないものというほかない。」と説示した上で、一部期間について「住民票等に記載された住所及びその異動の履歴と異なる事実を認めるべき特段の事情」が認められる旨判断し（同判決・48ないし54ページ）、アンケート調査の結果を居住実態の立証の有無を左右するものと位置づけています。こうしたことを踏まえ、被告としては、原告らの居住実態の立証については、住民票のみならず、居住実態を確認するアンケート調査等も行って立証していただく必要があると考えております。

以 上

居住に関するアンケート回答書 (枚目 / 枚目)

原告 番号	フリガナ 氏名 *注1	①住民票上の住所地/居住歴 *注2	②実際の居住地/居住していた場所 *注3	②の居住期間 *注4	①と②が異なる理由 *注5
	(1)	<input type="checkbox"/> 左記①と異なる場所に住んでいる/住んでいた時期がある 実際に住む/住んでいた場所 (1)	<input type="checkbox"/> 左記①と異なる場所に住んでいる/住んでいた時期がある 実際に住む/住んでいた場所 (1)	左記①(1)の場所で生活していた期間	
	(2)		<input type="checkbox"/> 左記①と異なる場所に住んでいる/住んでいた時期がある 実際に住む/住んでいた場所 (2)	左記②(2)の場所で生活していた期間	
	(1)		<input type="checkbox"/> 左記①と異なる場所に住んでいる/住んでいた時期がある 実際に住む/住んでいた場所 (1)	左記①(1)の場所で生活していた期間	
	(2)		<input type="checkbox"/> 左記①と異なる場所に住んでいる/住んでいた時期がある 実際に住む/住んでいた場所 (2)	左記②(2)の場所で生活していた期間	
	(1)		<input type="checkbox"/> 左記①と異なる場所に住んでいる/住んでいた時期がある 実際に住む/住んでいた場所 (1)	左記①(1)の場所で生活していた期間	
	(2)		<input type="checkbox"/> 左記①と異なる場所に住んでいる/住んでいた時期がある 実際に住む/住んでいた場所 (2)	左記②(2)の場所で生活していた期間	

記入者(代表者)

住所

氏名

以上の記載内容に間違いありません。

年 月 日

印 ※ 記入者(代表者)の自筆での署名、押印をお願いします。

注1. 氏名欄が足りない場合は2枚目以降を御使用ください。同じ世帯の方が複数の枚数にわたってもかまいません。

注2. 各人ごとに提訴日から3年前の令和元年11月10日から本回答書作成日までの住民票上の住所地を全て御記入ください。

居住地が3つ以上あり欄が足りない場合: 次の欄や2枚目以降に引き続き御記入ください。

注3. ①住民票上の住所地/居住歴と違う場所に、現在住んでいる、あるいは過去に住んでいた場合、□に✓を入れ、実際に現在住む場所、あるいは実際に現在住んでいる場所、あるいは実際に住んでいた期間を御記入ください。

注4. ②実際の居住地/居住歴と違う場所欄で、✓を入れた方のみ、実際に現在住んでいる場所、あるいは実際に住んでいた期間を御記入ください。

注5. ①住民票上の住所地/居住歴と違う場所について、御記入ください(例: 単身赴任、転勤、大学進学、就職、結婚等)。

居住に関するアンケート回答書 (1 枚目 / 1 枚目) ※ 記載例

原告 番号	フリガナ 氏名 #注1	①住民票上の住所地/居住歴 #注2	②実際の居住地/居住していた場所 #注3	②の居住期間 #注4	①と②が異なる理由 #注5
2000	アキシマ 知子 昭島 太郎	(1) 〒0000-00000 東京都昭島市〇〇町×丁目△番□号 (2)	<input checked="" type="checkbox"/> 左記①と異なる場所に住んでいる/住んでいた時期がある 実際に住む/住んでいた場所 (1) 〒XXXX-XXXXXX 愛知県名古屋市中区〇〇区〇〇×丁目△番□号 (2) 〒△△△-△△△△ 大阪府堺市〇区〇町×丁目△番□号	左記②(1)の場所で生活していた期間 令和2年4月1日から 令和5年3月31日まで 左記②(2)の場所で生活していた期間 令和5年4月1日から 現在まで	転勤による 単身赴任 転勤による 単身赴任
2001	アキシマ 花子	(1) 〒0000-00000 東京都昭島市〇〇町×丁目△番□号 (2)	<input type="checkbox"/> 左記①と異なる場所に住んでいる/住んでいた時期がある 実際に住む/住んでいた場所 (1) : 住民票上の住所地/居住歴と異なる場所に住んでいない/住んだことがない方は空欄にしてください。 (2)	左記②(1)の場所で生活していた期間 左記②(2)の場所で生活していた期間	
2002	アキシマ 一郎	(1) 〒0000-00000 東京都昭島市〇〇町×丁目△番□号 (2)	<input checked="" type="checkbox"/> 左記①と異なる場所に住んでいる/住んでいた時期がある 実際に住む/住んでいた場所 (1) 東京都新宿区〇〇×丁目△番□号 〇〇アパート●●号室 (2)	左記②(1)の場所で生活していた期間 令和4年4月1日から 現在まで 左記②(2)の場所で生活していた期間	大学進学

以上の記載内容に間違いありません。

令和〇年〇月〇日

記入者(代表者)

住所 〒0000-00000 東京都昭島市〇〇町×丁目△番□号

氏名 昭島花子



印

※ 記入者(代表者)の自筆での署名、押印をお願いします。

注1. 氏名欄が足りない場合は2枚目以降を御使用ください。同じ世帯の方が複数の枚数にわたってもかまいません。
注2. 各人ごとに提訴日から3年前の令和元年11月10日から本回答書作成日までの住民票上の住所地を全て御記入ください。
居住地が3つ以上あり欄が足りない場合、次の欄や2枚目以降に引き続き御記入ください。
注3. ①住民票上の住所地/居住歴と違う場所に、現在住んでいる、あるいは過去に住んでいた場合、口をいれ、実際に現在住む場所、あるいは実際に住んでいた期間を御記入ください。
注4. ②実際の居住地/居住していた場所欄で、口を入れた方のみ、実際に現在住んでいる場所、あるいは実際に住んでいた期間を御記入ください。
注5. ①住民票上の住所地/居住歴と違う場所について、御記入ください(例: 単身赴任、転勤、大学進学、就職、結婚等)。